

報道機関各位

令和6年7月9日  
北九州市危機管理室

令和6年度 北九州・苅田 防災シンポジウム  
『～令和6年 能登半島地震の教訓～』を開催します

「令和6年能登半島地震の教訓」をテーマに「北九州・苅田防災シンポジウム」を開催します。  
是非、開催周知と当日の取材についてご協力いただき、ご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年7月13日(土)13時30分～16時30分
- 2 場 所 J:COM 北九州芸術劇場 中劇場(北九州市小倉北区室町一丁目1-1-11)
- 3 概 要 (別添のチラシをご覧ください)  
能登半島地震の現地で活動された独立行政法人国立病院機構DMAT事務局次長の近藤 久禎 氏による基調講演に加え、北九州市上下水道局職員及び苅田町からの現地派遣職員による活動内容の報告などを行います。
- 4 主 催 西日本工業大学 総合防災研究所
- 5 後 援 北九州市・苅田町・国立病院機構本部DMAT事務局
- 6 問合せ 危機管理室 おおやま ひがし 大山・東 093-582-2110

令和6年度

# 北九州・苅田 防災シンポジウム

～令和6年 能登半島地震の教訓～

日時

令和6年

7月13日 土

13時30分 ▶ 16時30分 (開場12時30分)

会場

J:COM北九州芸術劇場(中劇場)

北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11 リバーウォーク北九州内

## タイムスケジュール

- 13:30～(20分) 北九州市消防局音楽隊
- 13:50～(05分) 開会挨拶 西日本工業大学 学長 鶴田 隆治
- 13:55～(40分) **基調講演**  
国立病院機構本部DMAT事務局  
次長(医師) 近藤 久禎 氏
- 14:35～(40分) **現地活動報告①** 苅田町 現地派遣職員
- 15:15～(10分) 休憩
- 15:25～(40分) **現地活動報告②** 北九州市 現地派遣職員
- 16:05～(20分) **西日本工業大学 総合防災研究所について**  
所長・工学部 教授 松下 紘資
- 16:25～(05分) 閉会挨拶



消防音楽隊 ©やまさん提供

● 参加無料

● 申込締切  
7月10日

WEB[二次元コード]から  
お申し込みください。



公益社団法人土木学会認定  
継続教育(CPD)プログラム

認定番号: JSCE24-0529

単位数: 2.4単位



近藤久禎 氏

## DMATとは

「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)の頭文字をとって略して「DMAT(ディーマット)」と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。近藤氏は1月1日の能登半島地震発生の翌日から、石川県庁に入り災害派遣医療チーム(DMAT)を指揮し、現地での活動を支援してきました。

**主催** 西日本工業大学 総合防災研究所

**後援** 北九州市・苅田町・国立病院機構本部DMAT事務局



西日本工業大学

| お問い合わせ | 西日本工業大学 総務企画課 TEL. 0930-23-1491